

「あなたの支援を 必要としている人へ」

2009年7月14日（火）17:40～18:30（50分）  
茨城県筑西市玉戸「ダイヤモンドホール」にて  
地下鉄サリン事件被害者の会・高橋シズエ

【自己紹介】

- 95年3月 事件当時は銀行でパート勤務、子供3人  
95年10月 民事裁判提訴  
96年1月 「地下鉄サリン事件被害者の会」結成、代表世話人になる  
97年3月 手作りの手記集を霞ヶ関で配布  
98年3月 NNN「ドキュメント'98」放送  
" 手記集『それでも生きていく』（サンマーク出版）刊行  
2000年2月 アメリカ研修。帰国後、記者たちと「犯罪被害者の話を聴く勉強会」を始める  
2004年7月 ニューヨークに 9.11テロ事件の遺族や支援者を訪ねる  
2005年1月 『〈犯罪被害者〉が報道を変える』（岩波書店）刊行  
2005年3月 事件から10年の集会に、9.11テロ事件の遺族たちを招待  
2005年4月 NHK「にんげんドキュメント・妻シズエさんの春 地下鉄サリン事件遺族の日々」放送  
2007年3月 事件から12年の集会で冊子『私にとっての地下鉄サリン事件』を制作  
2008年3月 『ここにいること～地下鉄サリン事件の遺族として～』（岩波書店）を刊行  
" フジTV「NONFIX・高橋シズエさん 彼女と過ごした7ヶ月」放送  
" NHKラジオ深夜便「心の時代」で「地下鉄サリン事件から13年の日々」放送  
この間、オウム事件の被害者救済を訴え活動、内閣府犯罪被害者等基本計画検討会の構成員  
他、国会での参考人発言、各地での講演、研修講師など

【地下鉄サリン事件の説明と現状】

○地下鉄サリン事件

95年3月20日朝、東京の営団地下鉄（現東京メトロ）の電車内でサリンがまかれ、5500人以上が病院に搬送され、12人が死亡したという日本の大都市で起きた初めての化学テロ事件

○刑事裁判

オウム真理教の教祖だった松本智津夫ら15人が関与、95年から裁判が始まり、死刑が確定したのは松本智津夫ほか3人、無期懲役で服役しているのは4人、残る7人は死刑あるいは無期懲役で上告、1人は逃亡中

○民事裁判

地下鉄サリン事件に関与した15人とオウム真理教を相手取り提訴。  
原告40人が2000年3月に勝訴したが、損害賠償金は一円も受け取っていない

○オウム真理教破産事件

被害者遺族と国が教団の破産申し立てをして、96年に裁判所が破産宣告  
資産を差し押さえ損害賠償金の支払いにあてたが、未払い6割で12年という異例の破産  
管財業務を08年3月に終了した

地下鉄サリン事件被害者の会が何年もの間要望してきたオウム真理教被害者救済法が、  
08年6月に成立。被害者は国の代わりに犠牲になった等を踏まえ、教団の債権を国が肩代  
わりした上で被害者に給付金を支払い、国が教団から債権を回収するもの  
地下鉄、松本サリン事件、坂本弁護士一家殺害事件など8事件の約6600人が対象

- ◎ 地域社会全体の理解、配慮、協力が必要だということ
- ◎ 職場の理解を高めてほしい
- ◎ 犯罪被害者等の置かれた現状や、支援の必要性を知ってほしい

■何が起きているのかわからない

妹からの電話／病院／警察／メディアスクラム

■司法解剖では勝手に・・・

座ったまま／渡しました／どうして法医学教室にあるのか

■世の中のしきたり

よくわからないまま／気丈に？／子どもたちをみて

■報道も必要だけど

毎日のように取材者／やっぱり二次被害／高橋さんには元気になってもらいたい

■被告人と向かい合う

傍聴／証言／検察官／裁判官／手紙／判決

■熱意あるサポートに助けられる

民事提訴／償権届出／会の運営／被害者支援、救済を求めて

■高橋もがんばりました

個人的には／代表世話人としては

■家族との関係

一家の要をなくす／(DVD)

■今日は何か役に立つことがあったでしょうか？

医者と患者／日常生活にはない／いつどこで誰が被害に／遺族に安心の微笑みを

【参考書籍】

- 『それでも生きていく』～地下鉄サリン事件被害者の手記集 (サンマーク出版) ¥1,470 (税込)
- 『〈犯罪被害者〉が報道を変える』高橋シズエ・河原理子編 (岩波書店) ¥1,890 (税込)
- 『私にとっての地下鉄サリン事件』高橋シズエ企画 (助成：サンマーク出版) (非売品)
- 『ここにいること』地下鉄サリン事件の遺族として 高橋シズエ著 (岩波書店) ¥1,785 (税込)